

れんごう中越地協

第1171号2025.1.6
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
http://tyuetu.net/

定価 1部10円
購読料は会費に含む



二〇二五 闘春

新年にあたり
連合中越地域協議会
議長 矢島良彦



←ひのきローズ

新年あけましておめでとうございます。巳年の2025年が、皆様にとって素晴らしい一年でありますことを心より念じております。

組合員の皆様におかれましては、昨年1年間、連合中越の運動にご理解を頂き、感謝申し上げます。取り分け、解散総選挙において4区・米山隆一氏、5区梅谷守氏の再選に向けた行動にご協力を頂き誠に有難うございました。併せて新潟県内5小選挙区において野党候補が全勝するという快挙を成し遂げることが叶い、連合組合員の底力を再確認した次第です。全国的にも野党候補の勝利が、石破政権を過半数割れの少数与党に追い込み、国会運営において本来の国民目線の政策議論を闘わす場へと様変わりをしていく様子を見るに付け、自公が政権復帰してからの十年余は日本の停滞を招いてしまった感が拭えません。継続して緊張感のある国会運営、日本の将来を見据えた政治を改めて望むものです。7月の参議院選挙でもこの流れで決戦に臨み、連合推薦の選挙区・比例区候補者の勝利へ邁進してまいります。皆様のご協力を宜しく願います。

さて、厚生労働省は2024年12月18日、令和6年「労働組合基礎調査」の結果を発表しました。同年6月30日現在の組合員数は、前年より2万5千人減(0.3%減)の991万2千人に減少し、単一労働組合の数は、前年より276組合減(1.2%減)の22,513組合となりました。これにより、推定組織率は、前年より0.2ポイント低下して16.1%と過去最低の結果となりました。連合は組合員数の低下に歯止めを掛け組織拡大を図ることを重点課題として取り組んでまいりましたが、現実には厳しい結果が続いています。80%以上の企業労働者が、組合の無い状態でも問題が無いのか、満足しているのか...あるいは不満の解決策が整備されているのか...いずれにしても企業別労働組合の必要性や社会性が希薄化し、昨今の賃上げでも労働組合の無い企業のアピール力が勝っている感があります。組合のある企業の賃上げが無い企業と比較し高いと言いますが、果たして正確な数値なのか懐疑的であり、労働のウェルビーイングは賃金だけではないことは、昨今の若者の意識調査でも明らかになっています。

劣悪な環境下で働く労働者が、団結して労働組合を作って会社と対等に...これが労働組合の本質ならばもっと組合ができてもおかしくないのですが、現実には違っているのではないのでしょうか。社会が変わってきている中で、労働組合と言う井の中の蛙になってはいけません。もっと社会に変革をもたらすメッセージや産業推進政策、地域では福祉活動を重点に推し進めることが必要です。連合が連合であり続ける限り社会へ訴えていく努力こそ今求められているのです。そのことが、全ての働く者の「必ずそばにいる存在」として地域で理解がなされていくものと考えます。

大変な時代ですが共に頑張っていきたいと思います。皆様のご健康・ご活躍を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます

連合中越第1回幹事会兼新旧役員引継会



本年もよろしく願いたします

- 議長 矢島 良彦
副議長 五十嵐 聡
副議長 長谷川義和
副議長 渡辺 睦
副議長 渡辺 将史
副議長 横澤 勝之
副議長 清水 賢志
副議長 中村 憲和
副議長 飯田 浩二
副議長 中島 弘毅
副議長 松山 大志
副議長 押野見拓哉
副議長 星野 弘樹
副議長 石坂 学
副議長 渡部 洋平
副議長 岡村 和宏
副議長 佐藤 昌和
副議長 渡辺 堅也
副議長 小林 一由
副議長 五十嵐 厚
副議長 須田 貴幸
副議長 登坂 仁
副議長 半澤 英和
副議長 稲見 康明
副議長 権頭 直也
副議長 橋本光優武
副議長 江端 泰成
副議長 岡地 英紀
副議長 榊澤 安利
副議長 木田由紀子
事務局 全労金

第1回幹事会兼新旧役員引継会

連合中越地協第1回幹事会が、12月10日(火)午後6時15分から長岡グランドホテルで開催されました。矢島議長は開会の挨拶で、「労働組合の組織率が低下する中、物価高や賃金の伸び悩みに対応するため、高い意識を持った活動が求められている。特に実質賃金の向上と中小企業の存続を支える取り組みが重要。急激な物価変動に対応し、社会インフラとしての労働組合の役割を果たしながら、組織の強化と拡大を目指して、地域の活動を一緒に頑張っていきたい」と述べました。次に前回の幹事会(11月6日)以降の報告として、第34回年次総会の総括、連合新潟「25春季生活闘争基本構想」、長岡市への市政要望書提出、各支部総会の開催状況などが報告され、承認されました。次に審議事項が協議され、幹事会役員体制と任務分担、当面の日程、25春季生活闘争関係の日程が決定されました。幹事会後は、新旧役員引継ぎ会が行われ、前副議長の野田さん、新任の長谷川副議長、渡辺幹事、島津SJネット副委員長からそれぞれに思いを込めた挨拶がありました。会の最後は、権頭幹事・

SJネット委員会第19回総会

SJネット委員会第19回総会が12月6日(金)午後6時30分から長岡市立劇場大会議室で開催されました。総会は、高井代議員(JAM新潟)と村田代議員(新教組)を議長団に選出し始まりました。権頭委員長は総会開催に際し、「SJネット委員会は一年間様々な活動をしてきたがもっとやれることはあると思つた。本日の総会でSJネット委員会の活動をご理解いただき、その活動に多くの組合員から参加していただきたい」と挨拶しました。一年間の活動報告は富井事務局長から、「委員会と委員会運営」、社会活動としての「農園事業」、地域協議会活動への参加、スポーツ交流会、ユニオンパワーアップセミナーなどが報告され、拍手で承認されました。第1号議案24年度の活動方針として、「組織活動」「社会活動」「レク・スポーツ活動」「教育宣伝活動」を行う方針を提案し、全体の拍手で承認されました。続いて、第2号議案

2025春季生活闘争日程
2月6日(木)18:00~ 第99回地協委員会 (前段で連合新潟春闘方針の説明会を開催)
2月28日(金)18:00~ 部門別連絡会
3月7日(金)18:00~ 長岡地区春闘総決起集会





新年ごあいさつ 長岡市長 磯田達伸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

連合中越の皆様におかれましては、日頃から勤労者の地位向上や福祉の充実のため、積極的に事業に取り組まれるとともに、行政や関係機関との橋渡し役としてご尽力いただき心から感謝申し上げます。

特に、連合中越をはじめとする関係団体の皆様が運営する新潟県ライフサポートセンターでは、専門家と連携して、労働や心の悩みなど生活に寄り添った相談支援を実践されており、今年度は既に約300件の相談が寄せられていると伺い、今後も勤労者のよりどころとして、一層の支援を期待しております。

物価高騰や急激な円安など、社会経済環境は大きく変化しています。長岡市では引き続き、地方最低賃金審議会に対し最低賃金の引き上げを要請してまいります。

また、「ながおかマッチボックス」では、ライフスタイルに合わせて働きたい求職者と企業のマッチングシステムを提供しています。デジタル技術を活用して、手軽に求職が可能な仕組みを導入し、子育て世代や高齢者等が、自分のペースに合わせて柔軟に働くことができる就業機会を提案してまいります。併せて、310社を超える企業が参加する「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」を通じて、長時間労働の見直しや育児・介護との両立ができる労働環境の整備等を市全域に展開し、働き方改革のさらなる促進を図ってまいります。

東京一極集中により人口減少が加速する中、これからの地方創生は、国が地方の拠点となる地域に集中投資をして、それらをつなぐ「拠点ネットワーク型」の政策展開になると考えております。

長岡はそうした拠点都市として、医療・福祉・教育・子育て支援のさらなる充実を図るとともに、産業分野におけるイノベーションやデジタル化・DX支援の加速化、産業の高付加価値化による人手不足対策の推進、インバウンド誘致や交流人口の拡大に加え、企業誘致や新産業団地の整備による若者や女性の働く場の創出などに、全力で取り組めます。

そして、人の流れや企業の拠点分散の受け皿となること、

「選ばれるまち長岡」を実現してまいります。
長岡市は引き続き、連合中越の皆様とともに勤労者が安心して働くことができる環境を整えてまいりますので、本年も市政にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで実り多い年になりますことを心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。



新年ごあいさつ 見附市長 稲田 亮

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

連合中越の皆様におかれましては、日頃より勤労者の地位向上や福祉の充実に向け、様々な取り組みを進められていることに、深く御礼申し上げます。

7.13水害や中越地震から20年の節目の年であった昨年は、元日の能登半島地震から始まり、災害への備えを改めて考えさせられる年でした。今後も市からの情報発信や、地域の皆様との連携などを通して事前の備えを強化し、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

さて、人口減少が大きな課題となる中、見附市では、若者や子育て世代の方に住みたい、戻ってきたいと思ってもらえるよう、魅力的な産業・雇用の創出とともに、子育て環境や教育の充実を力を入れて取り組んでおります。昨年3月には、「見附市子ども・子育てどまんなか条例」を制定し、子ども・子育てを応援するための基本理念を定めました。この条例には、「子どもの保護者や行政はもちろん、市民の皆様や地域、企業を含めてみんなで子どもや子育てを支えるまちにしたい」と、そんな思いが込められています。今後も、子ども・子育てを地域の「どまんなか」に据えた取り組みを進めてまいります。市内小中特別支援学校においては、チャレンジ精神や創造力などを養う「みつけjob(ジョブ)チャレ教育」を本格的にスタートさせました。市内企業の協力も得ながら、出前授業・職場体験や、ビジネスアイデアコンテストなどを実施しております。

また昨年は、5月に見附駅交流拠点「MITSUKERU(ミツケル)」が完成し、中高生や若者をはじめ多くの人が集う素敵な空間が生まれました。また、みつけイングリッシュガーデンを核として市民・地域・企業も参加する市内全体での緑化活動が評価され、英国の国民的園芸競技会「プリティンインブルーム」において英国外で初めて表彰されました。10月からは、市内飲食店や駅から市内全域へ帰宅できる夜間オンラインデマンド乗合タクシー「ナイトコミタク2」の実証運行を実施しております。これらをはじめ今後も、まちの魅力を高める話題を市内外に発信し、市民の暮らしの向上や、移住・交流・関係人口の増加に戦略的につなげてまいります。

令和7年度は、市の最上位計画である「第5次見附市総合計画」の最終年度です。市長就任時から開催している「ふれあい懇談会」で市民の皆様からいただいたご意見なども踏まえながら、これまでの施策の検証・見直しを進め、次期総合計画において未来に向けた見附のまちづくりの方向性を示してまいります。市職員の人材育成を進めるとともに、市民の皆様、地域やボランティア団体、企業や業界団体、外部人材など、あらゆる力をお借りして、世代・境遇にかかわらず誰一人取り残されず、誰もが「暮らし満足No.1」と思えるまちづくりを、皆様とともに推し進めてまいります。

結びに、新年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新春のごあいさつとさせていただきます。

ながおかワーク&ライフセミナー報告 第3講座「ひきこもりふおらむ」

12月14日、長岡市立中央図書館講堂で「ながおかワーク&ライフセミナー」第3講座「ひきこもりふおらむ」が開催され、「くらむ」が開催され、95名が参加しました。認定NPO法人「UNE」が企画開催しました。

冒頭、長岡地区労協の今井事務局長と長岡市の山田福祉課長が挨拶し、地域と行政が協力してひきこもり対策に取り組む重要性が強調されました。

山田課長による講演では、市が設置した「ひきこもり支援相談室」が紹介され、10月末時点で405件の相談を受け、75人を支援中であることが報告されました。訪問支援活動の課題にも触れ、「伴走支援」を基本方針とする取り組みが示されました。

UNEの活動紹介では、ひきこもり当事者の体験



ながおかワーク&ライフセミナー開催予定

- 第5講座 “暴力被害女性と生き難さを抱えた若者たちへの支援を続けて”**
とき： 2月1日(土) 14:00~15:30
ところ： 長岡市立劇場 大会議室
開催団体： NPO法人女のスペース・ながおか
- 第6講座 「可能性を支援するということ」**
とき： 2月15日(土) 13:30~15:30
ところ： 社会福祉センタートモシア
開催団体： コロンブ株式会社
- 第7講座 「平林弓奈 ピアノリサイタル」**
とき： 3月22日(土) 14:00~
ところ： ニューオータニ長岡 NCホール
開催団体： 長岡フランス音楽の会



あけましておめでとうございます **ろうきん**

ろうきんプラザ長岡は 土曜 日曜 も相談ができます!
土曜日曜 9:00~17:00
※休業日=月~金の祝日(振替休日を含む)、12月31日~1月3日、5月3日~5日、1/4・5が土・日曜日の場合は休業日となります。

パソコンやスマホから
ご来店予約が可能です。
来店予約はこちら

〈ろうきん長岡支店内〉長岡市呉服町1丁目3番地35 ☎0258-33-0222

旧年中のご愛顧を感謝いたしますとともに
皆様のご繁栄とご多幸を心からお祈り
申し上げます
本年もよろしくお願ひいたします

調子良かったです。
最後に邊見副会長の閉
会の挨拶で終了しました。

謹賀新年
たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

新潟推進本部
(新潟県総合生活協同組合)

こくみん共済 NEWS